



知行合一

新年度スタート！

いよいよ令和8年度のスタートです。子供たちは新たな環境下で期待や不安がありながらも落ち着いた学校生活を過ごしています。

7日に入学式を行い、白根東小学校の仲間になった1年生。大きくてピカピカなランドセルが誇らし気に見えます。「こんなに歩いたの初めて」と言いながらもしっかりと足取りで班長さんの後ろを歩いてくる子。「給食の焼きそばをおかわりしたよ」と美味しい給食の話をしてくれる子。「校長先生、見て」と書いた絵を見せてくれる子。笑顔で学校生活を楽しんでいる様子が伝わってきます。これから、初めて経験することや学ぶことがたくさんあると思います。たくさんの素敵な体験を重ねてくださいね。



1年1組



1年2組



給食風景

もちろん、他の学年の子供たちも素敵です。

○6年生はさすが！と感じた場面がたくさんあります。1年生の朝の支度のお手伝いでは、先生に言われなくても、声を掛け、自主的にお手伝いをしていていました。登校班の班長さんは、1年生と玄関は反対なのですが、1年生が靴を脱ぎ、上履きを履くまで一緒にいてくれました。

○子供たちは休み時間が終わりの時間になると、使っているものを片付け、走って教室に戻ります。高学年生がお手本を示してくれるので、全校時間を守り気持ちよく遊ぶことができます。気づかない1年生に3年生が「終わりだよ」と声をかけていました。素晴らしいですね。まだ、新年度が始まり、2週間ほどですが、上級生がお手本を示し白根東小学校の伝統を造っているのだと感じました。



学校だよりのタイトルについて

学校だよりのタイトルを「知行合一」としました。白根東小学校の歴史を遡ると、明治5年の学制発布に伴い、明治6年に開校した「第八中学区十四番小学」にたどり着きます。その、創設者「松井渙齋（まついかんさい）」の教えが「知行合一」なのです。

知行合一とは

『本当の知識は実際の行動をとまなわなければならない。知識と行動は切り離せない一つのものである。』という意味です。いくつか例をあげてみます。

- ①卵焼きの作り方を本を見て知っているけれど、実際に作ってみて、火が強いとごげちゃうな、とか、巻き方が難しいな、と初めて「卵焼きの作り方」を本当に知っている人になれます。
- ②「あいさつを元気にするのはいいこと」と知っている。勇気を出して「おはようございます」と自分から言う。あいさつをしたら、相手も笑顔になって、自分も気持ちよくなった。これで「あいさつの大切さ」が心と体でわかったことになります。

一言でいうと

「わかっているなら、やってみよう！やってみて初めて本当にわかったことになるよ！」ということです。

そんな伝統を引き継いだ「白根東小学校」の児童であることを、子供たちには誇りに思ってもらいたいと同時に、まずは「挑戦しよう！（やってみよう！）」という気持ちを持ってほしいと思います。

地域の見守りをありがとうございます



保護者の皆様、地域の皆様には、登下校時の見守りなど、子供たちが安全・安心な生活を過ごすことができるようにお力添えをいただいております。感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、白根東小学校の子供たちが健やかに育ちますよう、ご支援をよろしく申し上げます。地域、家庭、学校が連携しながら進めていきたいと思っております。

「チーム担任制」について

本校では、今年度より「チーム担任制」を進めています。これは、これまでのように1人の担任ではなく、複数の教職員で子供たちを見守る仕組みです。

3～6年生では、専科教員を含め、学年間の教科担任制を実施するとともに、クラスを固定せず担任をローテーションしていきたいと思っております。

1, 2年生は、学級担任制を基本としますが、教科指導を分担して行うとともに、クラスを固定せずタイミングを計りながら担任をローテーションしていきたいと思っております。

子供の発達段階に応じて、ローテーションする周期はそれぞれ違ってきます。また、学校への相談、連絡等は「学年担任」の誰に相談していただいても大丈夫な体制を整えます。もちろん、「学年担任」以外へ相談していただいても差し支えありません。

「チーム担任制」は、複数の教職員が関わることで、一人ひとりの子供たちを大切に、その子の持った長所や力を伸ばすことができる取り組みです。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。ご不明な点等ありましたら、学校まで連絡をお願いします。